

2024年度看護師負担軽減計画

勤務状況	評価体制
<p>■看護師数:2024年4月1日現在 常勤 207名、非常勤 7名 ■看護師週平均業務時間:2023年度実績 平均週 38.45時間(内残業 0.95時間)</p>	<p>■看護師負担軽減会を編成し、定期的に軽減会にて進捗管理を行う (構成員:副院長(委員長)、以下 看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、リハビリ療法士、臨床工学技士、総務人事課職員、医事課職員、医師事務作業補助者) ■軽減会を年3回(4月・10月・3月)開催して達成状況を確認する ■年1回以上病院長が軽減会に参加する</p>

目標 : 各部門/分野の具体的な方策の達成度80%以上

部門/分野	現状・問題点	対応方針	具体的な方策	達成度	達成年度
看護補助者	1.ケアスタッフによって、業務内容に制約がある	・ケアスタッフマニュアルの見直しと周知 ・介護福祉士による入浴前のバイタルサイン測定の実施	・各部署で定期的に看護補助者の業務の見直しを行っていく ・看護師とペアでできる業務を指導し実施していく ・介護福祉士を対象としたバイタルサイン測定の院内研修の開催	中間達成%、 最終達成%	2024年度
薬剤管理	1.病棟配置 2.薬の払い出し遅滞 3.時間外処方	1.病棟配置継続 2.薬の払い出し遅滞の回避 3.時間外処方の対応	1.服薬指導、退院時の説明、残薬チェック、相談応需 2.業務優先順位の見直し、監査担当者の役割継続 3.薬剤師24時間常駐体制の維持	中間達成%、 最終達成%	2024年度
画像診断部	カテ業務でのDr.PHSの応答対応をする	カテ業務中にDr.PHSの対応をNsが行っている。現場Nsにヒアリングしてみると、Pt観察中や記録中に頻繁にCallがあり、業務に支障が出ることがあるという訴えがある	Dr.PHSの応答対応をRTが行う。各Dr.PHSごとに配置し急用なら取り次ぎをし、そうでなければPHS対応用のメモ用紙を作成しDrに引き継げるよう体制作りをしていき、できるだけNsの手を煩わせることがないような業務体制を整えていく	中間達成%、 最終達成%	2024年度
臨床検査部	中央採血室での人員不足	採血室の増員	若手の育成及び手技のレベルアップ	中間達成%、 最終達成%	2024年度
リハビリセンター	患者のADL能力が病棟での生活に活かされていない事がある	病棟活動度(安静度)の円滑な連絡	目標設定シートの適時修正記入とタイムリーな掲示板への記入	中間達成%、 最終達成%	2024年度
臨床工学部	呼吸器の管理が不十分	呼吸器の保守管理業務の充実	呼吸器(侵襲的・非侵襲的に関わらず)の導入から離脱までの業務介入。人材の育成	中間達成%、 最終達成%	2024年度
医事課	看護師が行う事務的説明が、看護業務に影響を与えている	入院患者への事務的な説明や対応を継続して行っていく	高額療養費等の医療費についての説明 入院中の他院受診についての説明 自費項目についての説明	中間達成%、 最終達成%	2024年度
総務人事課	・看護師・ケアスタッフ等退職時の迅速な対応が難しい ・看護学生実習が多い	・看護師、ケアスタッフ等採用活動のサポートを行う。 ・実習の窓口業務をサポートする。	・HPのリクルートコーナーをリアルタイムに更新し広報活動を迅速に行い、採用のサポートを行う。 ・円滑に看護実習が行えるようサポートする。	中間達成%、 最終達成%	2024年度

	時期	状況
進捗状況	4月	今年度の方針・方策の確認
	10月	中間達成度の報告
	3月	最終達成度の報告